



熊本市のインフルエンザ流行状況 警報レベルが続いています

2025年第51週(12月15日~12月21日)の発生動向調査において、熊本市内の定点医療機関からのインフルエンザ報告数は1092件(1定点医療機関当たり45.50)で、国が定める警報レベルの基準値「30」を超えています。

高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。

マスク着用や、手洗い・うがい等の基本的な感染対策により、感染を予防しましょう。



年末年始、長期休暇前に確認を

◎体調の悪い方・持病のある方

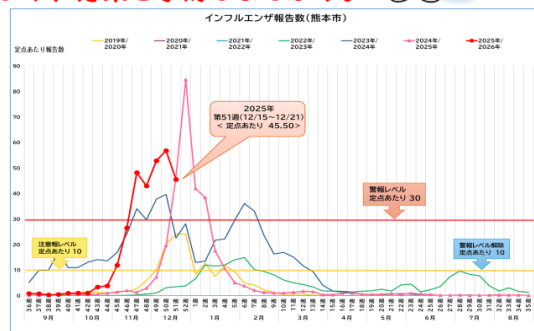
◆年末年始は休診となる医療機関が多いため、休みに入る前に受診しましょう。

◆お薬については医師・薬剤師に相談しましょう。

◎発熱などの体調不良に備えて

◆服薬中の薬や常備薬(解熱鎮痛薬等)、経口補水液、長期保存できる食品の準備をしましょう。

◆#7119や#8000など、体調不良時の電話相談窓口の連絡先を前もって調べ、活用しましょう。



こちらもCHECK! 熊本市HP

「上手な医療のかかり方
(適正受診・適正服薬のすすめ)」

定点 種別	疾患名	状況	50週(12/8~12/14)		51週(12/15~12/21)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	○	1363	56.79	1092	45.50
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		12	0.50	5	0.21
	急性呼吸器感染症(ARI)		2403	100.13	2128	88.67
小児科	RSウイルス感染症		7	0.47	7	0.47
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	16	1.07	11	0.73
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	19	1.27	27	1.80
	感染性胃腸炎	—	39	2.60	51	3.40
	水痘(みずぼうそう)	—	10	0.67	7	0.47
	手足口病	—	0	0.00	0	0.00
	伝染性紅斑(りんご病)	○	48	3.20	37	2.47
	突発性発しん		8	0.53	9	0.60
	ヘルパンギーナ	—	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	1	0.07	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	14	2.80	8	1.60
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		6	1.20	4	0.80
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし